
架空の王妃さま

真園みけ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

架空の王妃さま

【著者名】

真園みけ

【あらすじ】

ある日、王子様を国王が連れてきた。赤子は疑いようのないほど
国王そつくり。お母様はどなた様！？

1、やつて来てしまった王子様

王宮が揺れた。

ちなみに地震ではない。

未だ正妃も側室も持たない国王がどこからか連れてきた赤子を「息子が出来た」と言い放ったからだ。

「早速だが女官長、乳母を手配してくれ」

「へ、陛下……本当にこの御子様は陛下の……？」

「やうだ、よく見れ、私にそっくりだうひへ。」

はつわりいって、誰が見ても疑いのないほど、抱かれている赤子は抱いていた国王に似ていた。

国王の母である先王妃の女官であり、幼い頃の国王を見知っている女官長ならなおさらである。

朱金の髪と翡翠の瞳といつ、王族に多く出る色彩を持ち、田鼻立ちもパーシは国王のミニチュア版。

その日、ナキア国は母御の知れぬ王子様ができた。

2、ミステリアス上等（前書き）

2、ミステリアス上等

ナキア国^王の國^王、クロウイズ・アルテア・ナキアンは一年ほど前、体調を崩した父である前國^王の後を継いだばかりの若い國^王である。御年25歳の若さながら、眞面目で優しく、國民にも良い王になりそうだと将来性に期待されている。

少々、たよりなきげなのも愛嬌とおばちゃん達に大人気だ。

そんな彼に早く素敵なお嫁さんが来るといいと誰もが思っていたところに嫁を飛ばして息子が来た。

母御は何処の誰だと問い合わせても

「母が何処の誰であつても、この子は私の子供、それで良いではな
いか」と、まぐらかす。

それでも、臣下の者たちは、すっかり子煩惱な父となつた國^王に少なくとも、押し付けられた不慮の子ではないと、確信を持っていたから生暖かく見守りムードになつっていた。

それに、子供といふ時間を捻出するため、政務を今まで以上に精力的にこなすようになり、能率もアップしている。

宰相は

「父となり、國^王はより成長なされた」と、感動の涙にハンカチを濡らした。

「それはちょっとオーバーじゃないか？」

クロウイーズは小さな息子をあやしながら、呟いた。

「しかしながら陛下、このまま、母御の知れぬ王子様では公にはできませぬ、まずはおおまかな素性を作り上げましょう」

「何をする気だ？宰相」

「国内貴族の令嬢との子として、体裁を整えましきつ、なに、出産で体調崩して療養中とでもしつけばいいのですよ、誰も知らない秘密の王妃、いつそのことミステリアスなままにしておきましきつ」

いたずらひつけのような宰相の提案に国王は爆笑と共に乗ったのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7655z/>

架空の王妃さま

2011年12月25日22時57分発行